

再 評 価 対 象 河 川 事 業 概 要

平成18年9月12日
河 川 部

目 次

1 . 位置図	1
2 . 再評価対象直轄総合水系環境整備事業一覧表	2
3 . 再評価対象直轄総合水系環境整備事業の評価書（原案）	3

再評価対象直轄総合水系環境整備事業一覧表

事業名	事業進捗状況	社会経済情勢	費用対効果 分析 B / C	再評価理由 (事業着手年度)	対応方針 (原案)
天竜川	事業進捗率 約52% 現在の主要整備内容 座光寺・万年橋地区 河川利用推進事業 (H18～)	<p>天竜川では、河川を利用したカヌーやラフティングが盛んであり、河川空間利用の基盤整備として、親水性に配慮した護岸などを整備しています。周辺自治体や地元観光公社等の整備などと相まって、地域活性化の後押しをしています。</p> <p>この結果、天竜川上流管内の河川空間の年間利用者数は、平成5年度は約60万人、平成15年度は約100万人に達しており増加傾向にあります。 (河川空間利用実態調査)</p>	1.5	事業実施後10年が経過している事業	継続

平成18年度 継続箇所 直轄総合水系環境整備事業の評価書(原案)

事業名	天竜川直轄総合水系環境整備事業(天竜川上流)(河川利用推進事業)		
河川名・水系名	天竜川水系天竜川	事業主体	天竜川上流河川事務所
所在地	天竜川 右岸：長野県上伊那郡辰野町平出地先の町道橋～長野県下伊那郡天竜村神原字熊野山地先 左岸：長野県上伊那郡辰野町平出地先の町道橋～長野県下伊那郡天竜村大字平岡字熊竜地先		
事業着手年度	平成9年度		
再評価実施理由	事業実施後、10年が経過している事業		
実施内容	河川利用推進に係る河川環境整備		
全体事業費	約11億円		
事業の目的	舟下り、カヌーやラフティング等河川を軸とした観光資源の多い天竜川において、それらと連携した河川空間づくりと親水空間の整備を、周辺自治体等とともに取り組む。		
再評価の概要	<p>1. 事業の必要性</p> <p>(1) 事業をめぐる社会情勢</p> <ul style="list-style-type: none"> 河川を「観光資源」としているカヌー・ラフティング等の利用者の増加 【5,500人(H13) 9,000人(H16)《約1.6倍》】 管内全体の「河川空間利用者数」の増加 【60万人(H5) 100万人(H15)《約1.6倍》】 小中学校の先生が、環境学習の対象として「河川」に注目 <p>(2) 事業の投資効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備済み箇所における「河川空間利用者数」の大幅な増加 【1.6万人(H5) 6.0万人(H15)《約3.7倍》】 環境教育を通じた子どもたちの自然体験活動の充実 費用便益比(B/C) 事業全体の投資効率性の評価 = 1.5 残事業の投資効率性の評価 = 1.6 <p>(3) 事業の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体の事業進捗率は約68%(平成18年度末見込み) <p>2. 事業の進捗見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> 座光寺・万年橋地区：平成18年度事業着手予定 田島地区および下新田地区：今後5年以内にそれぞれ2ヶ年程度で事業を予定 <p>3. コスト縮減の可能性・代替案の可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> 工事費4.7億円のうち、約4百万円のコスト縮減 河川利用が盛んな事業対象区間において、河川空間の整備で効果が期待でき、他区域で同水準の河川空間を確保することは経済的ではありません。 <p>対応方針(案)</p> <p>本事業は継続する。</p>		